

アレルギー科を標榜する医療機関への調査結果

1 調査対象医療機関

アレルギー科を標榜する医療機関（373か所）

※日本アレルギー学会専門医が在籍する医療機関を除く

2 調査内容

- ・アレルギー疾患患者の紹介・逆紹介の1年間の実績
- ・アレルギー疾患医療について（実施の有無等）
- ・アレルギー疾患医療の課題、問題点、要望等

3 回答状況

149か所（診療所143、病院6）（回答率39.9%）

4 調査結果

(1) アレルギー疾患患者の紹介・逆紹介の1年間の実績(別紙1)

ア 県全体

(単位：か所(割合))

アレルギー科を標榜する医療機関	回答数	診療所	病院	拠点病院
右機関より患者を紹介された	149	66 (44%)	29 (19%)	14 (9%)
右機関に患者を紹介した	149	54 (36%)	74 (50%)	51 (34%)
右機関から患者を逆紹介された	149	26 (17%)	50 (34%)	30 (20%)

○ 紹介元としては診療所が多く、紹介先、逆紹介元としては病院（拠点病院含む）が多かった。

イ 二次医療圏別（患者を紹介した場合のみ）

(単位：か所(割合))

医療圏	回答数	診療所	病院	拠点病院
名古屋・尾張中部医療圏	52	14 (27%)	28 (54%)	22 (42%)
海部医療圏	0	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
尾張東部医療圏	9	4 (44%)	1 (11%)	2 (22%)
尾張西部医療圏	10	4 (40%)	6 (60%)	3 (30%)
尾張北部医療圏	17	8 (47%)	7 (41%)	3 (18%)
知多半島医療圏	17	8 (47%)	9 (53%)	10 (59%)
西三河北部医療圏	7	4 (57%)	3 (43%)	2 (29%)
西三河南部東医療圏	10	5 (50%)	6 (60%)	3 (30%)
西三河南部西医療圏	15	3 (20%)	7 (47%)	5 (33%)
東三河北部医療圏	4	3 (75%)	2 (50%)	0 (0%)
東三河南部医療圏	8	1 (13%)	5 (63%)	1 (13%)
愛知県全体	149	54 (36%)	74 (50%)	51 (34%)

○ 尾張東部医療圏、東三河北部医療圏では、診療所への紹介が多かった。

○ 西三河南部西医療圏は、愛知県全体と比べて診療所への紹介、病院（拠点病院含む）への紹介がともに少なかった。（海部医療圏は回答する医療機関がなかった。）

(2) アレルギー疾患医療の実施等の有無（別紙2）

(単位：か所(割合))

回答数	食物経口 負荷試験 の実施	ブリック テストの 実施	アレルギー 免疫療法 の実施	パッチテ ストの実 施	生物学的 製剤によ る治療 の実施	看護師に よるスキ ンケア指 導	薬剤師に よる治療 薬服薬・ 吸入指導	栄養士によ る食物アレ ルギー栄養 指導	エピペン® 自己注射 の指導管 理	「生活管 理指導 表」の作 成	小児アレ ルギーエ デュケー ションの 在籍
149	10 (7%)	6 (4%)	68 (46%)	18 (12%)	29 (19%)	47 (32%)	27 (18%)	10 (7%)	82 (55%)	99 (66%)	1 (1%)

○ 「生活管理指導表」の作成については、アレルギー科を標榜する医療機関（日本アレルギー学会専門医が在籍する医療機関を除く）において、日本アレルギー学会専門医の在籍する医療機関（拠点病院除く）と同程度実施されていた。

(参考) 日本アレルギー学会専門医の在籍する医療機関（拠点病院除く）の調査結果

(令和2年度実施)

回答数	食物経口 負荷試験 の実施	ブリック テストの 実施	アレルギー 免疫療法 の実施	パッチテ ストの実 施	生物学的 製剤によ る治療 の実施	看護師に よるスキ ンケア指 導	薬剤師に よる治療 薬服薬・ 吸入指導	栄養士によ る食物アレ ルギー栄養 指導	エピペン® 自己注射 の指導管 理	「生活管 理指導 表」の作 成	小児アレ ルギーエ デュケー ションの 在籍
146	46 (32%)	44 (30%)	77 (53%)	21 (14%)	69 (47%)	58 (40%)	66 (45%)	43 (29%)	111 (76%)	91 (62%)	16 (11%)

(3) アレルギー疾患医療の診療を行う上で特に力を入れていること（別紙3）

(4) 愛知県アレルギー疾患医療拠点病院について知っていたか。

(回答数：149)

- ・知っている回答のあった医療機関数：77 (52%)
- ・知らない回答のあった医療機関数：72 (48%)

○ アレルギー科を標榜する医療機関（日本アレルギー学会専門医が在籍する医療機関を除く）においては、半数以上が愛知県アレルギー疾患医療拠点病院を知っていた。

(5) 愛知県アレルギー疾患医療拠点病院に対して助言を求めたいこと。

(回答数：6)

- ・重症者の紹介先がわからない。
- ・ばんたね病院は講演会で認知していた。他の施設も各科総合のアレルギー拠点病院として広く啓発してもらいたい。
- ・最新の知見を、セミナー等にて、教えてほしい。
- ・アレルギー疾患の治療は長期による経過観察を要するが、診療所への紹介は無い。一般診療所の診療は紹介するに値しないのか。軽視しているのではないか。
- ・アレルギーの特定に対する経口負荷試験
- ・情報発信